

障害者差別解消法

「意思の表明」から始まる

合理的配慮を考える

学生との対話に着目して

入場無料

2016.12.1(木)

18:00 - 20:00

立命館大学 衣笠キャンパス
恒心館3階730教室

中継

・びわこ・くさつキャンパス
アドセナリオ2階A201教室
・大阪いばらきキャンパス AC730教室

プログラム

第1部

障害のある学生とサポート学生による発表

テーマ：授業場面での教員との対話

障害学生支援を通じた学生間の対話

第2部

「意思の表明」から始まる合理的配慮を考える

1. 合理的配慮の内容とその特徴

川島 聡 氏 岡山理科大学総合情報学部 准教授

2. パネルディスカッション

事例から考える合理的配慮のポイント

- ・川島 聡 氏 岡山理科大学総合情報学部 准教授
- ・村田 淳 氏 京都大学学生総合支援センター 助教／
障害学生支援ルームチーフコーディネーター
- ・竹内謙彰 氏 立命館大学産業社会学部 教授

3. 会場とのトークセッション

主催：立命館大学 障害学生支援室

問い合わせ先：

立命館大学
障害学生支援室（木谷・柏）
075-465-8343
drc@st.ritsumeai.ac.jp

障害者差別解消法「意思の表明」から始まる合理的配慮を考える ～学生との対話に着目して～

今年 4 月に障害者差別解消法が施行され、私立大学では障害者に対する差別の禁止、合理的配慮の提供が努力義務となりました。本学でも数多くの障害のある学生が学んでおり、授業場面などでも合理的配慮の提供が求められています。

合理的配慮の提供においては、当事者からの「意思の表明」が必要となること、そして両者の対話が重要になることに着目し、配慮の決定過程や実際の提供場面について、法の観点や現場の視点から考えていきます。



川島 聡 氏

岡山理科大学総合情報学部 准教授

主な研究分野は、国際人権法、障害法。東京大学大学院経済学研究科特任研究員（2007-2012年）。内閣府障がい者制度改革推進会議（障害者政策委員会）差別禁止部会構成員（2010-2012年）。ハーバード・ロースクール客員研究員（2011年）。東京大学先端科学技術研究センター客員研究員（2012-2015年）。

著書等に、『合理的配慮』（共著、有斐閣、2016年）、『増補改訂：障害者の権利条約と日本—概要と展望』（共編著、生活書院、2012年）、『障害を問い直す』（共編著、東洋経済新報社、2011年）など。

村田 淳 氏

京都大学学生総合支援センター 助教 /
障害学生支援ルームチーフコーディネーター

支援現場で、組織的な支援体制の構築や合理的配慮の提供に従事する一方、新たな視点でのバリアフリーマップ制作や発達障害のある学生のグループプログラムを実施するなど様々な取り組みを行う。

全国高等教育障害学生支援協議会・理事、文部科学省・障害のある学生の修学支援に関する検討会委員、日本学生支援機構・障害学生修学支援実態調査分析協力者 他

著書等に、『知のバリアフリー —「障害」で学びを拡げる』（共著、京都大学学術出版会、2014年）。



竹内 謙彰 氏

立命館大学産業社会学部 教授

専門は発達心理学。自閉症スペクトラムの人たちの発達の特徴や支援のあり方に関心を持ち、調査等の研究に関わる。また、当事者やその家族の真のニーズに迫ることを重視する視点から、立命館大学の障害学生支援室アドバイザーとして学生の支援にも関わる。

著書等に、『対人援助科学の到達点』（共編著、晃洋書房、2013年）、「高機能自閉症スペクトラム障害者の特別なニーズ—青年期後期～成人期の子どもを持つ母親に対するインタビューに基づく分析」『心理科学』（第33巻第2号、46-63、2012年）。

申 込 方 法

参加をご希望の方は、氏名・所属・参加希望キャンパスを明記のうえ、EメールまたはFAXにてお申込みください。
(情報保障をご希望の方はお知らせください)

申込締切 11月24日(木) / MAIL drc@st.ritsume.ac.jp / FAX 075-465-8352

| お名前 (ふりがな) | 所 属 | 参加希望キャンパス | 情報保障希望 |
|------------|-----|-------------------|--------|
| | | 衣笠 びわこ・くさつ 大阪いばらき | |
| | | 衣笠 びわこ・くさつ 大阪いばらき | |

情報保障等について

車椅子をご利用の方、介助者同伴の方、盲導犬同伴の方は申し込みの際にお知らせください。

また拡大文字レジュメ、データレジュメ、手話通訳、文字通訳、FM・ロジャーマイク利用をご希望の方は、11月17日(木)までにお知らせください。